

# J R 総連通信

2022年11月16日 No.1595

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>

## 2022年度年末手当交渉

# JR東労組 妥結！

## 2.4カ月 + 20,000 円

**「年末手当の怒りと悔しさをバネに、  
組織強化・拡大を成し遂げることを確認！」**

JR東労組は「2.4カ月+20,000円」という低額回答は、職場の組合員の努力に対する冒とくであり、到底許すことができないとし、「申7号・緊急再申し入れ」をおこない、本日16日交渉をおこなってきた。JR東労組は黒字に転換したのは、組合員・社員の努力であることを再三主張したが、会社は再考することなく低額回答に終始した。

一方、交渉の中で「夏の2.3カ月を超えてよかった」「思ったよりもらえた」という声が、一定数集まっていると回答を示したことから、社友会が社内世論を形成し、低額回答を作り上げたことは紛れもない事実である。

このような現実を突破するために、会社の狙いや経営姿勢を満天下に明らかにし、社友会や未加入者から組織拡大を実現していくこと、そして年末手当の総括をバネにJR総連と共に「統一要求・統一闘争」で、JR総連に結集する全国の仲間と共に、連帯・共闘をつくりあげ、23春闘をたたかい抜くことを確認し、苦渋の決断であったが妥結しました。